

誠
克
創
自
他
尊
重

実
己
造

大成中だより

.06(6428)0029 <http://cen-web/school/j09/index.htm>

平成22年
11月16日
第51号

【盛大に創立50周年記念式典を挙げる】

秋晴れのもと、大成中学校創立50周年記念式典が盛大に挙行されました。白井市長を始め、150名を超えるご来賓、地域、学校関係者の皆様に列席していただき、大変嬉しく思っております。ありがとうございました。

大成中学校の50年を振り返ってみますと、創立以来、地域や保護者の皆様から、学習環境の整備や教育活動への支援を、ずっと受け続けてきたことに改めて気づかされました。

私たち教育に携わる者は、“自分たちだけで教育活動を行っているのではない”ことを肝に銘じ、“生徒達のために必要な教育とは何か”を常に自問しながら、これからの教育活動を進めてまいります。今後とも大成中学校の教育活動に、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

尼崎市立大成中学校長 橋立 治男



芝軒実行委員長



橋立校長



白井市長



廣瀬さん



野地岡君

【同窓会が発足しました】

創立50年の記念事業として、同窓会を結

成しました。卒業生の願いがようやく叶いました。初代同窓会長は、下田平さん(第2回卒業生)。同窓会発足記念パーティには、160人近くの卒業生が集まり、旧交を温めていました。

「大成中の卒業生」というアイデンティティを共有する者どうし、卒業年度は違っても何か親しみを感じるのでしょうか、老若男女を問わず盛り上がっていました。『同窓生って良いなあ』と改めて思いました。これからは、生徒の皆さんも卒業と同時に、『大成中学校同窓会』の一員となり、大成中学校を支える側となります。支えがいのある大成中学校、誇りに思える大成中学校でないとガッカリしますね。卒業生であることを誇らしく思える大成中を皆さんの手で築きましょう。これは、卒業生12,570名の方々の願いでもあります。生徒の皆さん、責任重大だぞ。



【祝賀会】

さすが校歌に歌われる近松の里、50周年の祝賀会に近松門左衛門さんも登場して、お祝いをのべて下さいました。終始和やかな雰囲気の中で、50周年を祝い、それぞれに思い出を語り、最後は校歌の大合唱で締めくくられた祝賀会。この会でも、卒業生、保護者、地域の皆さんの、大成中学校に寄せる思いの強さをひしひしと感じました。『頑張っや。いつでも力になるで。』『先生ら、最近よう頑張ってるな。頼むで。』『昔の大成中みたいに、生徒が挨拶をしてくれました。嬉しかったです。』等々。私にビールを注ぎながらひとしきり思いを語って下さいました。おかげで、酔っぱらった私の顔は、真っ赤になり、なかなか元に戻りませんでした。



お祝いに駆けつけた近松さん



校歌の大合唱

【校長式辞(一部)】～生徒の皆さんへ～

さて、生徒の皆さん。今日、科学技術の進歩はめざましく、大変便利な世の中になりました。しかし一方では、長引く不景気に、職を失う人々やワーキングプアと呼ばれる、生活に足る収入を得ることができない人々、卒業しても働く場所のない若者が増加しています。社会や将来に不安を持ち、心に悩みを抱える若者も増加しています。こんな時代を生きる君たちには、「人間としての誇り」を忘れないでほしい。子どもやお年寄りなど弱い者への虐待や、家族への暴力、無差別な殺傷事件が多発する社会は、健全な社会ではありません。「人間としての誇り」を持ち、互いを尊重し、心豊かに暮らせる社会を、築いて欲しいと思います。もう一つは、「世界に目を向けて生きる人」になってほしい。今年ノーベル化学賞を受賞した根岸教授は、若者に対し「スポーツでも何でも、十代のころに自信のある分野を見つけ、世界を舞台にした高い目標を定めて追い続けて欲しい。」と語りました。視点を大きく世界に向けて、自分を鍛えて下さい。君たちが、どのような社会、どの世界でも立派に通用する人間となることを期待しています。



(オレガノの花)
【花言葉】
輝き